

職業実践専門課程の基本情報について

学校名	設置認可年月日	校長名	所在地																								
資生堂美容技術専門学校	平成11年3月11日	大竹政義	〒173-0003 東京都板橋区加賀二丁目15番1号 (電話) 03-3962-2561																								
設置者名	設立認可年月日	代表者名	所在地																								
学校法人資生堂学園	平成10年3月30日	大竹政義	〒173-0003 東京都板橋区加賀二丁目15番1号 (電話) 03-3962-2561																								
分野	認定課程名	認定学科名	専門士	高度専門士																							
衛生	美容専門課程	美容師科(ビューティースペシャリストコース)	平成22年文部科学省 告示第153号	—																							
学科の目的	美容師国家資格取得に向けた美容全般の知識と技術の習得と同時に、ヘアに関する深い知識と高い技術力及びトータルビューティを提案できる幅広い知識と専門的な技術、そして「おもてなしの心」を備えた優れた接客対応力を習得すること。																										
認定年月日	令和4年3月25日																										
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な 総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																				
2年	昼間	2010	630	90	1290	0	0																				
生徒総定員	生徒実員	留学生数(生徒実員の内)	専任教員数	兼任教員数	総教員数																						
400人の内数	237	0	17人の内数	11人の内数	28人の内数																						
学期制度	■前期:4月1日～9月30日 ■後期:10月1日～3月31日		成績評価	■成績表: 有 ■成績評価の基準・方法 各科目で定める授業科目の試験(レポート・課題提出含む)に出席状況および授業並びに課題取組み姿勢等も加味して行う。各科目の成績評価方法及び基準はシラバスにて定める。(参考)学則第9条の3																							
長期休み	■夏季:7月下旬～8月下旬 ■冬季:12月下旬～1月上旬 ■春季:3月下旬～4月上旬		卒業・進級条件	1. 各課目の必要履修時間を満たしていること。 2. 学則に定めた所定の科目または進級条件として定められた試験に全て合格すること。 3. 年間の累計欠席日数が9日を超えないこと。 4. 所定の学費を期限内に全て納めていること。 (参考)学則17条																							
学修支援等	■クラス担任制: 有 ■個別相談・指導等の対応 個別カウンセリングや保護者毎との連携、及び個別アプリ配信等により学修支援を行っている。		課外活動	■課外活動の種類 (例)学生自治組織・ボランティア・学園祭等の実行委員会等 学生会組織、イベントボランティア、コンテスト対策(エキスパートチーム)、学園祭、体育祭 ■サークル活動: 無																							
就職等の状況※2	■主な就職先、業界等(令和2年度卒業生) 美容室、ブライダルサロン、ネイルサロン、アイリストサロン、化粧品メーカー ■就職指導内容 就職担当教員がキャリア授業を実施する他、担任教員と連携し指導と支援を行っている。主な就職先となる企業・団体との本校独自のネットワークを組織し交流会、業界セミナーや会社説明会を実施し連携を強化している。 ■卒業者数 : 116 人 ■就職希望者数 : 116 人 ■就職者数 : 116 人 ■就職率 : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合 : 100.0 % ■その他 ・その他: 0人 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報)		主な学修成果 (資格・検定等) ※3	■国家資格・検定/その他・民間検定等 (令和2年度卒業者に関する令和3年5月1日時点の情報) <table border="1"> <thead> <tr> <th>資格・検定名</th> <th>種</th> <th>受験者数</th> <th>合格者数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>美容師(国)</td> <td>②</td> <td>116人</td> <td>116人</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> ※種別の欄には、各資格・検定について、以下の①～③のいずれかに該当するか記載する。 ①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの ②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの ③その他(民間検定等) ■自由記述欄 (例)認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等				資格・検定名	種	受験者数	合格者数	美容師(国)	②	116人	116人												
資格・検定名	種	受験者数	合格者数																								
美容師(国)	②	116人	116人																								
中途退学の現状	■中途退学者 5名 令和2年4月1日時点において、在学者236名(令和2年4月1日入学者を含む) 令和3年3月31日時点において、在学者231名(令和3年3月31日卒業者を含む) ■中途退学の主な理由 進路変更、身体的な修学困難 他 ■中退防止・中退者支援のための取組 担任教員が定期的に個人面談を行い就学や生活面の相談を受けている他、必要に応じて保護者を交えて学年主任や教育部長が面接を行い中退防止に取り組んでいる。また、休学や再入学の制度により、復学の道を担保している。		■中退率 2%																								
経済的支援制度	■学校独自の奨学金・授業料等減免制度: 有 ※有の場合、制度内容を記入 特待生制度:優秀な成績を修めた在校生を表彰し資金(6～18万円)を給付する制度 入学金免除制度:在学高等学校記載の調査書で欠席日数が0日の入学者に対し、入学金(10万円)を免除する制度 ■専門実践教育訓練給付: 非給付対象 ※給付対象の場合、前年度の給付実績者数について任意記載																										
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 無 ※有の場合、例えば以下について任意記載 (評価団体、受審年月、評価結果又は評価結果を掲載したホームページURL)																										
当該学科のホームページURL	https://academy.shiseido.co.jp/courses/beauty-specialist-course/																										

(留意事項)

1. 公表年月日(※1)

最新の公表年月日です。なお、認定課程においては、認定後1か月以内に本様式を公表するとともに、認定の翌年度以降、毎年度7月末を基準日として最新の情報を反映した内容を公表することが求められています。初回認定の場合は、認定を受けた日以降の日付を記入し、前回公表年月日は空欄としてください

2. 就職等の状況(※2)

「就職率」及び「卒業者に占める就職者の割合」については、「文部科学省における専修学校卒業者の「就職率」の取扱いについて(通知)(25文科生第596号)」に留意し、それぞれ、「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」又は「学校基本調査」における定義に従います。

(1)「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職(内定)状況調査」における「就職率」の定義について

①「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除したものをいいます。

②「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含みません。

③「就職者」とは、正規の職員(雇用契約期間が1年以上の非正規の職員として就職した者を含む)として最終的に就職した者(企業等から採用通知などが出された者)をいいます。

※「就職(内定)状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等とします。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除きます。

(2)「学校基本調査」における「卒業者に占める就職者の割合」の定義について

①「卒業者に占める就職者の割合」とは、全卒業者数のうち就職者総数の占める割合をいいます。

②「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいいます。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしません(就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う)。

(3)上記のほか、「就職者数(関連分野)」は、「学校基本調査」における「関連分野に就職した者」を記載します。また、「その他」の欄は、関連分野へのアルバイト者数や進学状況等について記載します。

3. 主な学修成果(※3)

認定課程において取得目標とする資格・検定等状況について記載するものです。①国家資格・検定のうち、修了と同時に取得可能なもの、②国家資格・検定のうち、修了と同時に受験資格を取得するもの、③その他(民間検定等)の種別区分とともに、名称、受験者数及び合格者数を記載します。自由記述欄には、各認定学科における代表的な学修成果(例えば、認定学科の学生・卒業生のコンテスト入賞状況等)について記載します。

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針
 企業等委員の意見等を把握・分析し、教育課程の改編や授業科目の開設等に活用するほか、参照資料等も踏まえ、授業内容や方法の改善及び工夫等の取組みにおいても活用するものとする。教育課程編成委員からのご意見等の聴取とその活用は、弊校の特長化による魅力アップとともに社会からの評価向上に繋げる。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
 ※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記
 教育編成委員会は、職業教育の水準の維持向上を目的として、教育機関や関連する業界団体等と連携し、実践的な教育課程の編成や授業方法、実習指導等の改善・見直しのために必要な提言等を行うものとする。
 提案された内容は管理職会議で検討し、最終的にカリキュラムに組み込むかどうかを決定する。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿 令和3年8月27日現在

名前	所属	任期	種別
益山 光一	東京薬科大学薬学部医療薬物薬学科 教授	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	②
岡元 美也子	株式会社資生堂 ビューティークリエイションセンター長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
大竹 政義	資生堂美容技術専門学校 校長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
佐々木 健一	資生堂美容技術専門学校 教育部長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
片岡 由香	資生堂美容技術専門学校 美容師科教員	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
石飛 熙堯	アクティブラーニング協会 役員 株式会社ヒューマンデザイン 取締役チーフプロデューサー	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
横田 由香	資生堂ジャパン株式会社 美容戦略部長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	③
大久保 紀子	資生堂美容技術専門学校 副校長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
秋田 亘彦	資生堂美容技術専門学校 教務部長	令和2年4月1日～令和4年3月31日(2年)	
鈴木 和江	資生堂美容技術専門学校 ビューティーコンサルタント科教員	令和3年4月1日～令和4年3月31日(2年)	

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
 (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合には、種別の欄は空欄で構いません。)
 ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
 ②学会や学術機関等の有識者
 ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期
 (年間の開催数及び開催時期)
 年2回(8月、3月)※令和2年度は、教育課程編成委員会開始時期のため2月・3月に実施。令和3年度以降は、8月・3月に開催で推進。
 (開催日時(実績))
 第1回 令和3年2月26日 14:00～16:00
 第2回 令和3年3月30日 14:00～16:00
 第3回 令和3年8月23日 14:00～16:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況
 ※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。
 外部委員からのこれからの学生にはICTスキルを有する事、とりわけ外に向けたSNS等を活用した自己発信力の必要性の提言を受け、令和3年度入学の美容師科のカリキュラムに、デジタル技術のスキル習得授業を初めて取り入れた。ビューティーコンサルタント科は、既存授業の中にデジタルスキル習得内容を組み込み、カリキュラムとしては令和4年度を計画している。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係		
(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針 ・当校の教育理念である「美しく生きる」をかなえようを実践する為に、業界で実際に働いている講師を招聘し、美容業界で役立つ知識・技能を身に付けさせる。講師選定にあたっては学生が社会人となった時にすぐに活用できるように現在、業界で活躍中の業界人を条件としている。 ・学生に化粧品店や美容サロンの実務の現場に出向かせ、現場職員の業務を補佐することにより、実務知識を学ばせる。		
(2) 実習・演習等における企業等との連携内容 ※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記 ・現在、活躍中の美容領域のトップクリエイターから旬な知識、技術を学ぶ事を目的に、プロフェッショナル研修として、美容業界のトップクリエイターの知識、技術を習得する授業を実施している。 ・実務知識の習得においては、化粧品店、サロンの店頭での実習では、事前の打ち合せを担当者と綿密に行う。打ち合わせでは、実習の目的・内容・評価の仕方等を伝え、さらに当該学生の「実習学生プロフィール」を提出することで学生の資格取得状況、性格等の情報を共有する。実習内容は学生が実習ノートに記入し、入店先の評価者が評価と活動状況のコメントを記述する。評価とコメント内容を踏まえ、学生の実習態度、コミュニケーション能力、業務把握の状況などを確認し、この後の学生指導に反映させ、効果の高い実務実習を目指す。(20年度化粧品店では、新型コロナの影響で実務実習は実施出来なかった)		
(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。		
科目名	科目概要	連携企業等
BSコース プロフェッショナル研修	プロフェッショナル研修は、美容業界で活躍している方を講師招聘し、各分野の最新情報を得たり、現場で使っている美容テクニックを学びます。また、モデルを使った技術展示などにより、モデルウィッグではできない、お客さまの雰囲気や服装を含めたトータルビューティーについて学ぶことを目的としている。	株式会社資生堂、資生堂美容室株式会社、WFF株式会社、坂本詩歩、韓南徹
美容実習 実務実習1	実務実習1は美容業の理解を深めるために美容施設において開店前準備や接客、技術者サポートなどアシスタントに求められるスキルについて学ぶことを目的とする。また、この実習授業は管理美容師の管理の下に行う。	資生堂美容室株式会社、株式会社アースホールディングス、株式会社ネオリーブ、株式会社アッシュ、有限会社ファゴ
美容実習 実務実習2	実務実習2は美容業の理解を深めるために美容施設において開店前準備や接客、技術者サポートなどアシスタントに求められるスキルについて学ぶことを目的とする。また、この実習授業は管理美容師の管理の下に行う。	資生堂美容室株式会社、株式会社アースホールディングス、株式会社ネオリーブ、株式会社アッシュ、有限会社ファゴ
3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記 教員は、専門領域における美容実践能力および教育実践能力の修得・向上のため、実習施設等と連携して研修等を実施する。 美容研修は、最新の美容技術など、教員として最も基本とする美容実践能力を高めるとともに、それらの経験を美容基礎教育に活用させることを目的として行う。 教育実践能力研修は、教員各人に対して専門領域における教育実践能力を効果的かつ効率的に開発することを目的として行う。		
(2) 研修等の実績		
① 専攻分野における実務に関する研修等 研修名「SABFAベーシックヘアメイクコース」(連携企業等:株式会社 資生堂) 期間:令和2年10月～令和3年3月 対象:教育部美容師科教員から選抜 内容:美容師としての幅を広げるヘアメイクアップの理論・表現を学び、教員としてのレベルアップを行う。		
② 指導力の修得・向上のための研修等 研修名「アサーティブ eラーニング研修」(連携企業等:株式会社 資生堂) 期間:令和2年9月1日(火)～9月18日(金) 対象:全職員 内容:自分の考え方のクセを知り、学生との日常のコミュニケーションに活かす。		
(3) 研修等の計画		
① 専攻分野における実務に関する研修等 研修名「理容師・美容師養成施設教員資格認定研修会 衛生管理」(連携企業等:公益社団法人 日本理容美容教育センター) 期間:令和3年度 6月 対象:教育部美容師科教員から選抜 内容:美容師養成施設において衛生管理を担当するに足る資格を取得する		
② 指導力の修得・向上のための研修等 研修名「新任者・若手教員向け研修プログラム」(連携企業等:公益財団法人 東京都私学財団) 期間:令和3年度 12月・3月 対象:教育部教員からの選抜者 内容:実践的な知識を学び、模擬授業を通じて教員としての自己理解を深めスキルアップを行う。		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

資生堂美容技術専門学校に係る自己点検・自己評価の結果について、看護分野に関する専門的な知見からの意見を聴取するとともに、保護者の意見を把握し、教育活動および学校運営の改善を図る。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	理念・目的・育成人材像
(2) 学校運営	運営方針・事業計画・運営組織・人事・給与制度・意思決定システム・情報システム
(3) 教育活動	目標の設定・教育方法・評価等・成績評価・単位認定等・資格・免許の取得の指導体制・教員・教員組織
(4) 学修成果	就職率・資格・免許の取得率・卒業生の社会的評価
(5) 学生支援	就職等進路・中途退学への対応・学生相談・学生生活・保護者との連携・卒業生・社会人
(6) 教育環境	施設・設備等・学外実習、インターンシップ等・防災・安全管理
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動・入学選考・学納金
(8) 財務	財務基盤・予算・収支計画・監査・財務情報の公開
(9) 法令等の遵守	関係法令、設置基準等の遵守・個人情報保護・学校評価・教育情報の公開
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献・地域貢献・ボランティア活動
(11) 国際交流	国際交流への取組

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

評価結果を受けて、自己点検自己評価委員会でその年度に取り組む改善点を明確にし、改善計画を立案、実施している。令和3年度は、「社会人基礎力を養う事に重点を置いた授業の充実」等に取り組んだ。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和3年8月27日現在

名前	所属	任期	種別
横田 敏一	株式会社ビューティ横田/ビーワイジー	令和2年10月1日から令和3年9月30日(2期)	業界関係者
白坂 春光	株式会社ヴィサーージュクリエーション	令和2年10月1日から令和3年9月30日(2期)	業界関係者
大竹 秀明	埼玉県立南稜高等学校	令和3年4月1日から令和3年9月30日(1期)	高等学校関係者
竹澤 喜孝	加賀五四自治会	令和2年10月1日から令和3年9月30日(2期)	地域関係者
鈴木 章生	横浜フィナンシャルパートナーズ株式会社	令和2年10月1日から令和3年9月30日(2期)	卒業生代表
尾崎 芽久美	KIDA美容室オルゴール	令和2年10月1日から令和3年9月30日(2期)	保護者代表

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他() ()

URL: <https://academy.shiseido.co.jp/disclosure/>

公表時期: 年度の最終の委員会終了後の2か月以内に公表

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

下記(2)ガイドラインに基づく項目の情報をホームページ上に公開している。
また、主に入学希望者向けパンフレットにも学校の概要、教育内容、就職状況等、入学から卒業までの課程・取組みを掲載している。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校名 ・校長名 ・所在地 ・連絡方法 ・学校の沿革 ・教育理念
(2) 各学科等の教育	<ul style="list-style-type: none"> ・取得目標資格
(3) 教職員	<ul style="list-style-type: none"> ・職掌別人数
(4) キャリア教育・実践的職業教育	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア支援 ・就職支援
(5) 様々な教育活動・教育環境	<ul style="list-style-type: none"> ・主な学校行事
(6) 学生の生活支援	<ul style="list-style-type: none"> ・生活支援
(7) 学生納付金・修学支援	<ul style="list-style-type: none"> ・入学金 ・学納金 ・奨学金と教育ローン
(8) 学校の財務	<ul style="list-style-type: none"> ・学校財務 財務情報：貸借対照表、資金収支計算書、事業活動収支計算書
(9) 学校評価	<ul style="list-style-type: none"> ・学校評価 (1) 学校自己評価報告書および評価結果を踏まえた改善方策 (2) 学校関係者評価報告書および評価結果を踏まえた改善方策
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ)・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL:<https://academy.shiseido.co.jp/disclosure/>

授業科目等の概要

(美容専門課程美容師科(ビューティースペシャリストコース)) 令和3年度															
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○		関係法規・制度	美容師法について、美容師と美容所に関する規定・行政処分など美容師としてよく承知して置くべき事柄を学ぶ。	2通	30		○			○		○		
2	○		衛生管理1	公衆衛生・環境衛生では健康に関する社会の現状としくみ、健康的に生きるための環境作りについて学ぶ。	1前	30		○			○			○	
3	○		衛生管理2	感染症では身体をおびやかす感染症と予防について学ぶ。	1後	30		○			○			○	
4	○		衛生管理3	衛生管理技術では感染を予防するための対策として、具体的な消毒の知識と技術を学ぶ。	2通	30		○			○			○	
5	○		保健1	基礎的な人体の解剖・生理機能について学ぶ。	1前	30		○			○			○	
6	○		保健2	皮膚及び皮膚付属器官の「構造」「生理機能」「保健」「疾患」について国家試験出題傾向を踏まえ学ぶ。	1後	30		○			○			○	
7	○		保健3	保健の国家試験過去問題を解くことで、出題傾向や覚えるべき事項を学ぶ。	2通	30		○			○			○	
8	○		香粧品化学1	香粧品原料と香粧品のための基礎化学について学ぶ。	2前	30		○			○			○	
9	○		香粧品化学2	香粧品美類別製剤各論と香粧品のための基礎化学について学ぶ。	2後	30		○			○			○	
10	○		文化論1	西洋の美容文化及び、和装の礼装、洋装の礼装について学ぶ。	1後	30		○			○			○	
11	○		文化論2	日本の美容の歴史と美容文化について、文献や視聴覚資料など用いながら学ぶ。	2前	30		○			○			○	

12	○		美容技術理論 1	多様化するお客さまのニーズに対応できる技術を身につけるための基本的理論を学ぶ。	1 前	30	○			○	○						
13	○		美容技術理論 2	多様化するお客さまのニーズに対応できる技術を身につけるための基本的理論を学ぶ。	1 前	30	○			○	○						
14	○		美容技術理論 3	多様化するお客さまのニーズに対応できる技術を身につけるための基本的理論を学ぶ。	1 後	30	○			○	○						
15	○		美容技術理論 4	各専門分野をベースに、美容全般の知識について学ぶ。	2 通	30	○			○	○						
16	○		美容技術理論 5	各専門分野をベースに、美容全般の知識について学ぶ。	2 後	30	○			○	○						
17	○		運営管理	経営者の考え方や経営者が果たす責任・役割を学ぶ。人を雇うことの責任や働くうえで求められることを学ぶ。	2 通	30	○			○	○						
18	○		美容実習 BS コース シャン プーイング1	サイドシャンプー、リアシャンプーの基礎技術と知識を学ぶ。	1 ・ 2 通	30				○	○	○					
19	○		美容実習 BS コース シャン プーイング2	サイドシャンプー、リアシャンプーの応用技術と知識に加え、ヘッドスパの基礎技術と知識を学ぶ。	2 通	30				○	○	○					
20	○		美容実習 BS コース ヘアカッ ティング	カット技術における4つの基本的パターンを中心に技術と知識を学ぶ。	1 ・ 2 通	30				○	○	○					
21	○		美容実習 BS コース アップス スタイル1	アップスタイルやセットスタイルの基礎技術と知識を学ぶ。	1 前	30				○	○	○					
22	○		美容実習 BS コース アップス スタイル2	アップスタイルやセットスタイルの基礎技術を生かした応用技術と知識を学ぶ。	1 ・ 2 通	30				○	○	○					
23	○		美容実習 BS コース パーマネ ントウエービ ング	パーマントウエーブの基本巻き、応用巻きの技術と知識を学ぶ。	1 通	30				○	○	○					
24	○		美容実習 BS コース ヘアカ ラーリング	ヘアカラーリングの基礎技術と様々な製品に触れることで知識を学ぶ。	1 ・ 2 通	30				○	○	○					
25	○		美容実習 BS コース メイク アップ1	メイクアップの基礎技術及び知識を学ぶ。	1 前	30				○	○	○					

26	○		美容実習 BS コース メイク アップ2	メイクアップの応用技術及び知識を学び、 ジャパンビューティーマソッド協会の資格取 得を目指す。	1 通	30				○	○	○					
27	○		美容実習 BS コース メイク アップ3	メイクアップの発展技術及び知識を学び、 ジャパンビューティーマソッド協会の資格取 得を目指す。	1・ 2 通	30				○	○	○					
28	○		美容実習 BS コース エステ ティック	資生堂式マッサージを主としたフェイシャル ケアのハンドテクニックを学ぶ。	1 通	30				○	○	○					
29	○		美容実習 BS コース ネイル1	ネイルの基礎技術、知識を学ぶ。	1 前	30				○	○	○					
30	○		美容実習 BS コース ネイル2	ネイルの応用技術、知識を学ぶ。	1 通	30				○	○	○					
31	○		美容実習 BS コース 着付け・ ブライダル1	着付け・和装かつらの基本技術、洋装ブライ ダルヘアメイクの技術を学ぶ。	1 通	30				○	○	○					
32	○		美容実習 BS コース 着付け・ ブライダル2	着付けの応用技術、知識を学ぶ。	1 後	30				○	○	○					
33	○		美容実習 国 家試験課題 基礎1	国家試験課題第2課題ワインディングの基礎技 術を学ぶ。	1 前	90				○	○	○					
34	○		美容実習 国 家試験課題 基礎2	国家試験第2課題オールウェーブセッティング の基礎技術を学ぶ。	1 通	120				○	○	○					
35	○		美容実習 国 家試験課題 基礎3	国家試験第2課題オールウェーブセッティング の応用技術を学ぶ。	2 前	60				○	○	○					
36	○		美容実習 国 家試験課題 基礎4	国家試験第1課題カットの基礎と応用技 術を学ぶ。	2 通	120				○	○	○					
37	○		美容実習 実 務実習1	実際の現場で職業経験を行う。リアルな現場 体験を通じてアシスタント業務や美容業界の 理解を深めるとともに、美容業のやりがいや 楽しさを学ぶ。	1 後	30				○	○	○	○				
38	○		美容実習 実 務実習2	実際の現場で2回目の職業経験を行う。リアル な現場体験を通じてアシスタント業務や美 容業界の理解を深めるとともに、美容業のや りがいや楽しさを学ぶ。	2 前	30				○	○	○	○				
39	○		国家試験対策 応用1	国家試験第2課題ワインディングの技術を深め る。	1・ 2 通	60				○	○	○					

40	○		国家試験対策 応用2	国家試験第2課題オールウエーブセッティングの技術を深める。	2通	60				○	○	○						
41	○		国家試験対策 応用3	国家試験実技第2課題であるワインディング、またはオールウエーブセッティングの実技国家試験の対策を行う。	2後	90				○	○	○						
42	○		国家試験対策 応用4	筆記レベルチェック及び、筆記模擬により筆記国家試験の対策を行う。	2通	30			○		○	○						
43	○		総合クリエイション	アクティブラーニング形式・ワークショップ形式の授業において、チームワークづくりと自主自立心を養いながら、技術発表会に向けた作品を創出する。	2通	60				○	○	○						
44	○		BSコース プロフェッショナル研修	美容に関連するプロフェッショナルから高度なテクニックを学ぶ。	1・2通	30		△		○	○	○					○	
45	○		エステティック応用	AEA認定エステティシャン資格取得に向けたフェイシャル基礎技術のレベルアップ及びボディ基礎技術を学ぶ。	2前	30				○	○	○						
46	○		デジタルクリエイション	デジタル機器を活用し基本的なPCスキルの習得及び資料や写真の作成・編集やプレゼンテーションを学ぶ。	1通	30		△		○	○	○						
47	○		デッサン	鉛筆デッサンを通して、モチーフを観察しその印象や形態感を表現することを学ぶ。色彩構成、画面構成を通して、その印象や形態感をアレンジして表現することを学ぶ。	1通	30				○	○							○
48	○		カラーコーディネート	色彩検定3級の色彩基礎知識や色彩基礎配色・色彩心理学と行動心理学（カラーコーチング）でコミュニケーション能力を高めることを学ぶ。	1通	30		○	△		○							○
49	○		サロンコミュニケーション英語	美容サロンでのシーンや生活の様々なシーンにおける短い会話を題材にして、リスニングスキル、スピーキングスキルの英会話を学ぶ。	1通	30		○	△		○							○
50	○		マナー&ビジネス講座	美容業に必要な生活マナーや心構え、コミュニケーションマナーやビジネスシーンで必要なおもてなしの接客応対力を学ぶ。	1通	30		○	△		○							○
51	○		キャリア育成	就職活動に向けた企業選択や履歴書・エントリーシートの書き方、就職面接のマナーや心構えをグループディスカッションを交えて学ぶ。	1通	30		○	△		○							○
52	○		美容教養（美しく学ぶ）1	グループワークやイベントの企画・検討を通して、社会人としての人間力魅力の向上を図る。	1通	30		△	○		○							○
53	○		美容教養（美しく学ぶ）2	グループワークやイベントの企画・検討を通して、社会人としての人的魅力の更なる向上を図る。	2通	30		△	○		○							○
合計					53科目					2,010単位時間								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
<卒業要件>学則に定めた所定科目の成績評価において全て60点以上で合格すること。 <履修方法>学則に定めた通り、53科目を全て履修すること。		1学年の学期区分	2期
		1学期の授業期間	22週

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。